

▽基調講演Ⅱ今後の養豚産業についてⅡ(独)農畜産業振興機構内藤邦男副理事長。

▽話題提供Ⅱ①インターネットを利用した六次産業化の勘所Ⅱ岩手県東磐井郡・(株)アーク橋本晋栄代表取締役(養豚経営)。②消費者のニーズを的確につかみ、経営に活かす勘所Ⅱ大阪府泉佐野市・(有)関紀産業川上幸男氏(養豚経営)。③地域資源(人・技術・設備)を最大限に活用した六次産業化の勘所Ⅱ兵庫県加古川市・(株)オクノ奥野克哉代表取締役(採卵鶏経営)。なお、奥野氏は、平成二十年度全国優良畜産経営管理技術発表会において、優秀賞を受賞されている。

十月二十三日第四回おきなわ和牛販売促進会開催

J A 沖縄県経済連と(株)ミートーコンパニオンは平成二十二年十月二十三日、午前十時より、埼玉県和光市のアグリズ・ワンにおいて、沖縄畜産活性化対策の一環として、「第四回おきなわ和牛販売促進会」を開催する。引き続き、午後十二時三十分より、木曾路新座店において、交流会が行われる。

同販売促進会の開催までの流れは、十月十六日に沖縄本島から搬送が行われ、十八日に鹿児島県から陸送し、十九日にアグリズ・ワンに到着となっている。続いて、二十日にと畜、二十二日に格付けが行われ、二十三日に展示即売会が行われる。

沖縄県は全国で四位の子牛生産県といわれ、経済資源のさらなる活性化を図るために、肉牛生産の推進が行われている。沖縄県の高品質な和牛を広く知らせ、再生産が可能で活力のある生産基地を構築するためには、首都圏で販売を行い、消費者のニーズを把握するとともに、「おきなわ和牛」の認知活動が不可欠と位置付けている。

「第四回おきなわ和牛販売促進会」には、「おきなわ和牛」が四二頭と二〇〇八年に地域銘柄牛として認証された。「石垣牛」六頭が出品される。特に、「石垣牛」が生体のまま本州へ出荷されるのは初めてのことである。